



軍師アカデミー

団体案内

<https://gunshi.or.jp/>



ご挨拶

大切な誰かとともに未来を描く

この社会に軍師を輩出したい。その想いを胸に、ゼロから軍師養成・認定事業の立ち上げに取り組んで12年が経過しました。その過程で私たちは多くのことに気づき、学び、実践を通じた研鑽を続けてきました。

軍師という存在が持つ意味とは? その輩出が社会にとってどんな価値を生むのか? 当初から理解していたつもりだったことの意味を何度も問い直し、学び、理解を深めていく努力は12年経過した今も全く変わりません。その努力こそ、軍師アカデミーが「アカデミー」と名乗り、そこに参加する仲間たちや社会にとって価値ある存在であり続けるための土台であると考えています。

軍師は、大切な誰かの成長・成功を信じ、願い、その実現を支えます。その過程で自らも成長し、ともに価値ある未来を描きます。軍師アカデミーでは、そのために必要な力とは何か? を追究し続けてきました。そして、その力を有する軍師仲間を増やし、年齢や職業、日常の立場や役割を超えた切磋琢磨のコミュニティ「軍師会」を形成してきました。

残念ながら、2020年からのコロナ禍により、約2年間（軍師アカデミー講座にとっては2期）に渡って、軍師養成・認定の新規講座を開講することができませんでした。しかし、この2年間は「こんな時だからこそ軍師が必要!」と痛感する期間でもありました。

このあいさつ文を書いている現時点においても、コロナ禍に端を発する社会の混乱は続いています。社会的犠牲を強いられている人や会社は今も翻弄され続けています。だからこそ、私たちにできること、軍師アカデミーだからこそできることをしたい。その想いを込め、私たちは再び動き出すことを決めました。

私たちが持つ独自の力、「経営×キャリア(人生)」を切り口して体系化された軍師力を多くの人にお伝えし、その力を持って自分や自分の大切な誰かの未来を描く軍師を輩出すること。その原点に戻り、軍師養成・認定事業の再開を目指します。

2022年 春
一般社団法人 軍師アカデミー
代表理事(理事長) 神崎 充

私たちが目指すもの

人や組織がお互いの価値を高めあう社会
成長と幸福の連鎖に溢れた未来
その実現に貢献する軍師の輩出

難しさと 可能性が 混在する社会

誰しもが容易に情報を発信でき、次から次へと情報が湧き出てくる社会。今の世の中は誰にでもチャンスが訪れ、可能性に満ちた環境と言えるでしょう。

しかし、同時に、洪水のように押し寄せる情報の中から本物を見つけ出し、新しい刺激や誘惑に足元をすくわれることなく、力強く進む上でのハードルは、かつて無いほどに高くなりました。しかも、日本国内に関して言えば、人口減少、高齢化等、これまでの数十年とは全く異なる社会構造の変化が進んでいます。企業、人材の淘汰も進むことでしょう。

可能性と難しさが増していく中、はっきりしているのは、多くの人や企業にとって、従来のやり方は通用しなくなるということです。これまで培ってきた価値を受け止めつつも、今と未来を自由な発想で描き、主体的に考え、挑戦し、行動を積み重ねた人や企業だけが生き残ることになるのかもしれません。

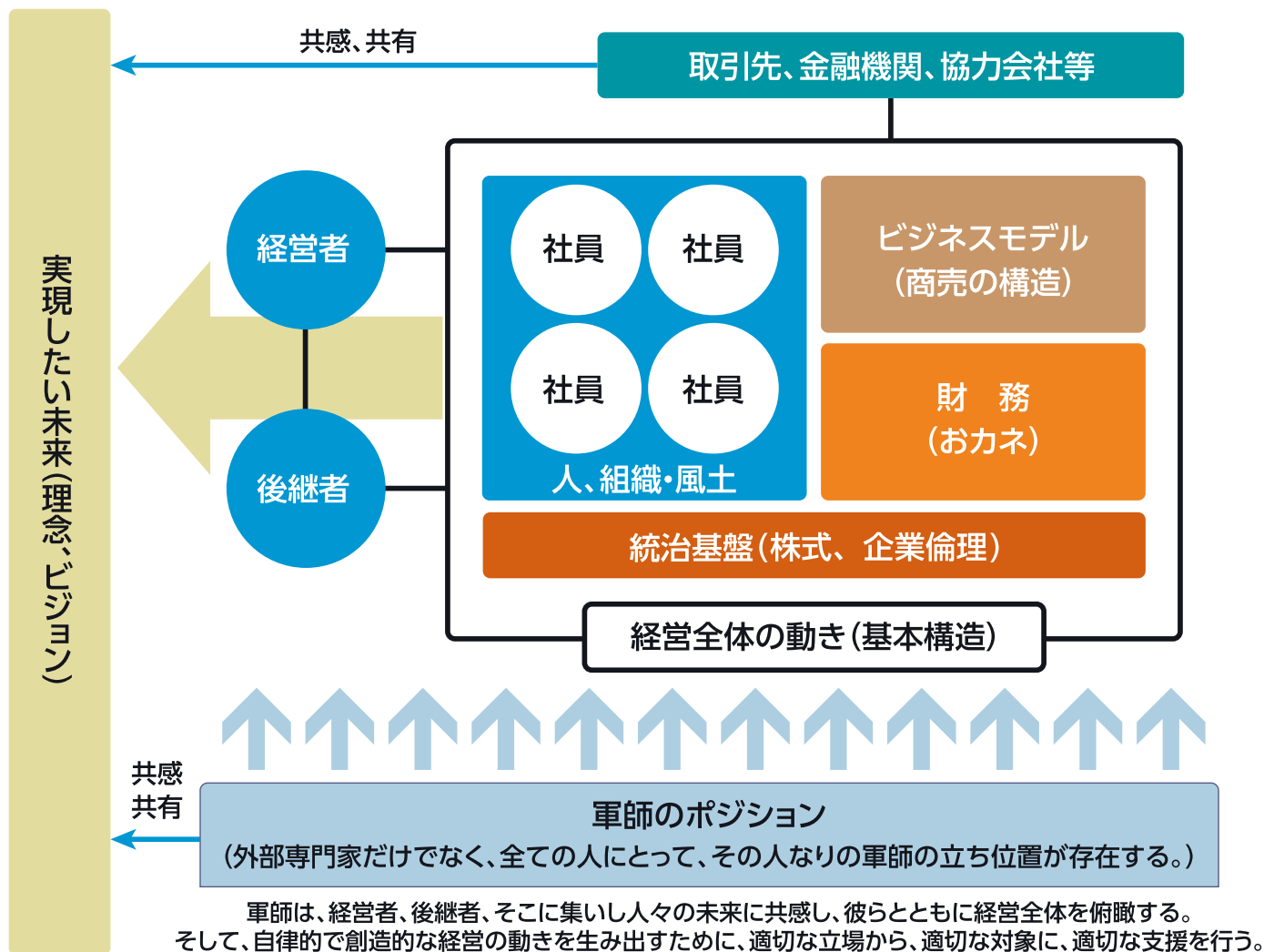
軍師が 求められる 時代

その厳しく、難しい時代において、人や企業が持つ可能性を最大限に引き出し、未来を描く存在としての「軍師」輩出に邁進しているのが私たち、一般社団法人軍師アカデミーです。

頑張れば頑張るほど、私たちの視野は時として狭くなります。短期と中長期の課題が混在し、適正な分析・判断・決断ができなくなってしまいます。もがけばもがくほど、集った人々に翻弄され、いつしかゴールを見失い、道に迷い、求心力を無くして分裂してしまいます。その難局を乗り越えるためには、リーダーとメンバーが合理的かつ誇りとこだわりを持つことができる目標を共有し、勝算のあるシナリオを描き、動き続けることが重要となります。

その実現を心から願い、ともに歩む存在としての「軍師」に私たちは着目しました。

軍師は、全体を俯瞰し、表面的な事象に目を奪われず、本質は何かを探ります。その状況を深く洞察し、「今、誰が、何を、どのように行うべきか（行うべきでないか）」を見出し、リーダーやメンバーとともに歩みます。そして、目先の課題解決だけでなく、そのプロセスを通して、かかわる人々や組織全体が成長し、自律的で創造的な流れを生み出します。



図表:経営現場における軍師のポジション

理想は、
かかわる方
全てが
軍師の顔を
持つこと

上部の図「経営現場における軍師のポジション」をご覧ください。果たして、この軍師の立場で役割を果たすべき人は誰でしょうか？

例えば、社外の専門家（顧問、コンサルタント、コーチ等）はこの立場に立つべき職業人です。この立場に立ちうる能力を磨き、役割を果たすのが仕事です。では、専門家以外の方についてはいかがでしょうか？

私たちは、経営者、後継者、社員、取引先等、さらには家族、パートナー等、全ての方々がこの軍師のポジションに立っている状態こそが理想だと考えています。例えば、経営者の方であれば、自分の行動をコントロールしつつ、自分以外のメンバーを支援し、成長を引き出すという軍師役を果たすわけです。社員の場合でも、経営者、上司、部下、同僚、自分を成長させ、周囲からも力を引き出し、仕事をしていくわけです。

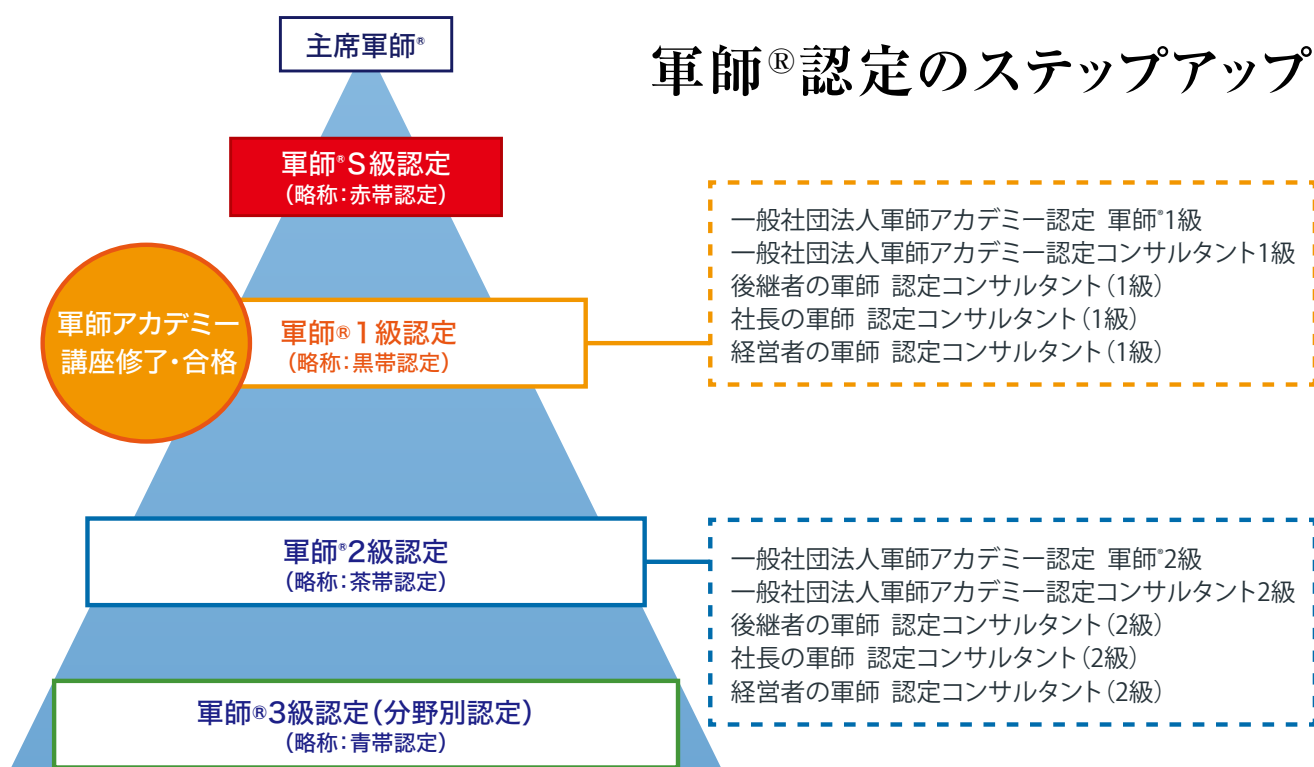
その視点でとらえたとき、経営の現場、仕事の現場をより良いものに成長させるために必要な人材、力とは何か？ということについて、いくつもの仮説が生まれました。その仮説に基づき、広く社会に多様な軍師人材を輩出しているのが、私たちの実施する軍師養成講座「軍師アカデミー」です。

一般社団法人
軍師アカデミー
活動紹介

軍師人材の輩出（軍師養成・認定事業） 軍師アカデミー講座の開催

人と経営の本質を理解し、その成長に貢献する軍師人材を輩出するため、私たちは軍師[®]認定を伴う軍師養成・認定事業を継続的に実施しています。軍師[®]認定は、「主席軍師」「S級認定」「1級認定」「2級認定」「3級認定」で構成され、継続的な研鑽を図り、レベルアップしていく仕組みとなっています。

なお、この軍師力獲得、向上の入口として実施しているのが、団体名と同じ名前で開催される軍師養成・認定講座「軍師アカデミー講座」です。同講座では、軍師力を磨く最高の切り口としている「後継者支援」「事業承継支援」に光を当てながら、その切り口にとどまらない汎用性を持つ軍師力を獲得することを目指します。同講座を修了し、軍師認定審査に合格したうえで軍師[®]認定登録された方たちは、私たちが商標として保有する「軍師[®]」等の呼称を名乗り、私たちが開発・蓄積している軍師[®]専用ツールを使用することが認められます。



軍師仲間同士の交流・連携促進

軍師会（当法人A会員の集まり）では、地域別に支部を設置し、会員の継続的な交流、切磋琢磨を促しています。それぞれの支部ごとに支部役員が存在し、支部長のもとで柔軟な運営方針を定め、エリア特性等を踏まえた活動が展開されています。もちろん、多忙なメンバーも多く、かかわり方は人それぞれですが、そうした場が継続的に用意されていることで、時期や立場にあった軍師会の活用法が可能になると考えています。

支部によっては、自分自身のプロとしての持ちネタをその場で発表し、参加者に意見や助言をもらう「道場機能」を持たせるなど、工夫を凝らした企画が動いています。

また、年に一度、「軍師総会」という情報共有、成果発表、お互いのPRを含む交流・連携促進の行事が開催されます。全国各地から軍師仲間が集まる場であり、非常に高い出席率で盛り上がりを見せる場となっています。その場で、全国の軍師仲間具体的な連携企画をPRし、仲間に呼びかけ、ビジネススキームを前進させた会員もいます。

その他、軍師仲間が集まっての勉強・交流会等も、本部管理とは別の動きとして自然発生的に生まれ、軍師同士のさまざまなコミュニティが生まれています。



軍師総会風景（京都大学百周年時計台記念館内のホールにて実施）

軍師力の追究・開発

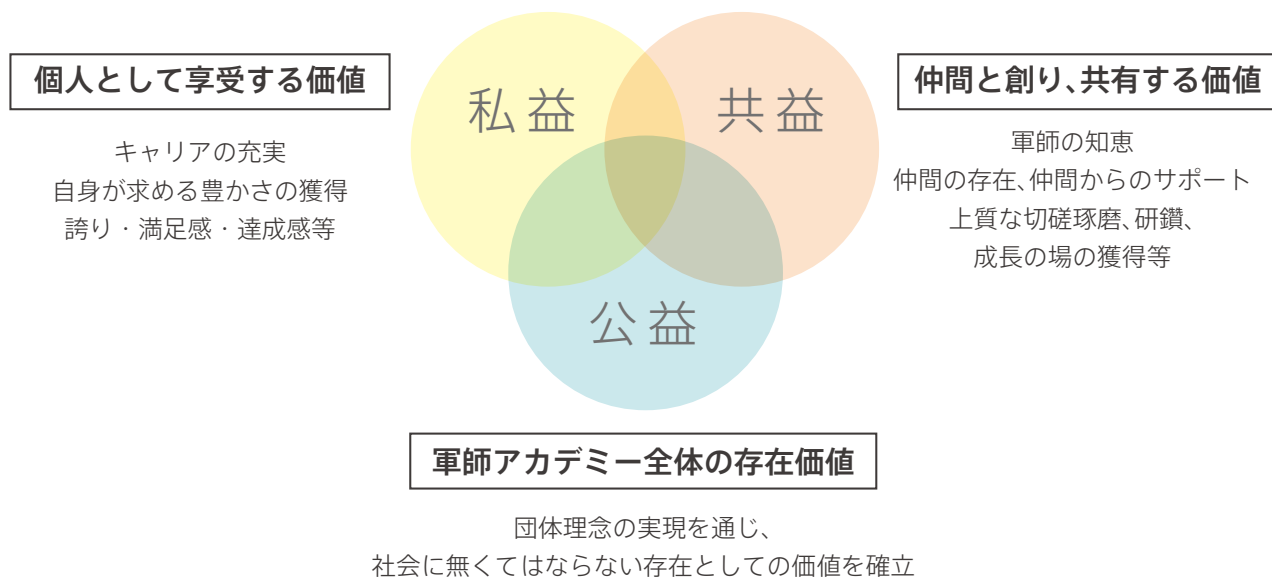
私たちが世の中に提案する軍師力とは、人間の本质や経営の本质とは何かを問い続け、その可能性を引き出し、価値を高める力です。その探求に終わりはありません。今も、日々その研究を続け、役立つ手法には謙虚に学び、本物の軍師として獲得すべき軍師力の深化を目指しています。

当法人のA会員で構成される軍師会（軍師アカデミー講座を修了済みの当法人会員、主に軍師®認定保有者による集まり）では、自主的な研究・勉強会が発足し、軍師としての技術を研究・開発しながら力を磨く活動が続けられています。そして、その成果は研究会メンバー以外の会員ともシェア（共有）され、会員それぞれの研鑽が軍師アカデミー全体の成長につながる仕組みとなっています。

これまでにMBO（目標管理）手法を用いた組織マネジメント、自己理解・自己肯定感向上支援手法、キャリア形成支援手法、後継者支援手法、自己・自社の客観視ツール作成等、さまざまなテーマ設定による自主研究会が公式に発足し、研究が積み上げられています。

軍師会とは、「私益」「共益」「公益」の3益が増幅しあうコミュニティ

～ 三位一体の成長を目指して ～



軍師会とは、参加する会員一人ひとりにとって3つの益をバランスよく獲得し、それらのシナジーを生み出し、究極的にはすべてを重ね合わせて一体化させることを目指しているコミュニティ組織です。軍師アカデミー講座受講中は「みなし会員」としてその雰囲気を感じつつ、講座修了後は殆どの方がそのまま軍師会に入会され、ご自身の軍師力を高め続け、その可能性を引き出す歩みを続けています。

私益とは文字通り個人として獲得する利益です。軍師力を高め、発揮し、その仲間たちが集う軍師会に身を置くことによって、自らが幸せになること。とても大切なことだと感じます。

共益とは、そこに集う仲間たちとともに享受し、獲得する利益です。たとえ、現時点での私益に直結しないことであつたとしても、仲間とともにその場で共有できる価値を育てていくこと。それは最終的に私益とも重なることであり、場としての軍師会を充実させる原動力となり、お互いの貢献を重ねることで育てられる大切な価値だと考えています。

公益とは、一言でいえば組織目標の達成です。突き詰めた言い方をすれば、団体理念の実現であり、その理念を実現し続けることができるだけの組織として成長していくことにあたります。その組織としての全体の成長があるからこそ、実り多き「私益」や「共益」の場が維持され、充実していくことが可能となります。

この3つの利益のどこに今の自分が最も関心を持っているか、目を向けているのかは、軍師会のメンバーの中でもさまざまです。同じ一人の人間にとっても、そのキャリアのステージによって変わってきます。しかし、人として、軍師として成熟していく中で、こうした一見別物とも思える3つの益は、徐々に重なりを増し、一体化していくものかもしれません。少なくとも、軍師会はそのイメージを持ちつつ、個々の会員の方のキャリア（人生）の充実のステップの中で多様なかわり方を定めていただける存在でありたいと考えていますし、そのかわり方の変化を受け止められる懐の広い存在を目指しています。

一人ひとりの軍師のために、ここに集いし軍師仲間たちのために、そして社会のために、私たちは試行錯誤しつつ、会の充実を図っています。

軍師力の研鑽・向上のための研修

軍師会として研究を続け、軍師力の体系そのものを深く強くする一方で、それを会員と共有し、会員の軍師力向上を促すための研修を随時開催しています。



CMBO (Creative MBO) 軍師養成講座

CMBOを提唱され、実践されている目標管理の第一人者である中嶋哲夫氏（MBO実践支援センター代表 当法人相談役）による軍師向け研修。中嶋氏が培ってこられた人や組織への見識と知恵を軍師向けに伝授いただき、軍師からの持ち込み相談を事例にディスカッションを展開。全3日間の軍師限定セミナー。講座開講時には、新規受講者だけでなく、過去の受講者もオブザーブに訪れ、学びの空気に溢れた場が醸成されます。



軍師アカデミー講座のオブザーブ

軍師養成・認定講座の特徴の1つ「オブザーブ受講（軍師会員のみが可能。原則無料で何度でも聴講できる仕組み）」の仕組みを利用し、講座会場にて学び直しを行い、学びの仲間たちとともに理解を深めていくことを団体としても推奨しています。

その他 一般向けオープンセミナー開催、研修・コンサルティングへの軍師紹介

当法人主催、もしくは当法人との連携を背景とした会員によるこだわりのオープンセミナーを随時開催しています。また、個別の企業、団体への研修受託につきましても、ご相談いただいた場合には、適切な軍師の紹介を含め、柔軟に対応させていただきます。コンサルティングにつきましても同様です。

一般社団法人 軍師アカデミー 会員の種類

当法人では、以下の種類の会員形態を設けております。詳しくは、公式サイトにて会員規約等をご確認ください。また、入会のお問い合わせは本部事務局 (info@gunshi.or.jp) までEメールにてお問い合わせください。

種別	属性	会員の権利
社員	当法人が体系化する「軍師力」を高次元で習得した者で、当法人の事業運営に参画する個人	①当法人の社員総会に出席し、議決に参加することができる。 ②当法人の理事を選挙することができる。 ③当法人の事業に参加し、その全てを利用することができる。 ④基金抛出事案を発議できる。
A会員	当法人が定める公式の軍師認定講座を修了し、一定レベル以上の水準に達したと代表理事又は代表理事が定める機関によって認められた個人	①軍師認定基準を満たした場合、その認定を名乗ることができる。 ②軍師認定保持者のみが使用できる資料、ツールを利用できる。 ③A会員で組織される軍師会の活動に参画でき、軍師総会、軍師会支部会、研究会等を通じて研鑽を積み、交流を広げることができる。 ④軍師認定講座のオブザーブ受講等、継続的な研鑽を積むための場として案内される講座に参加することができる。 ⑤軍師認定講座受講修了後、認定試験に合格できなかった場合、継続的な学習へのフォローを受け、再受験することができる。 ⑥当法人への事業提案を行い、その事業に参画することができる場合がある。
B会員	当法人の理念、活動内容に賛同し、自らの軍師力を高めるために参加する個人で、A会員の水準には達しないものの、当法人が認める教育プログラムを終えた者	①当法人の主催する事業において会員特典を受けられる場合がある。 ②当法人の会員限定の勉強会等に参加できる。 ③当法人が認める軍師認定講座に優先的に特別価格で参加できる。 ※原則として、軍師総会に出ることはできない。(軍師会会長の判断によるゲスト参加はあり得る)
賛助会員	当法人の理念、活動内容に賛同し、自らの軍師力を高めるために参加する個人又は団体	①当法人の主催する事業に参加する場合、会員特典を受けられる場合がある。 ②当法人の会員限定の勉強会等に参加できる。 ③当法人が認める軍師認定講座に優先的に特別価格での受講ができる。 ※団体で賛助会員となっている場合、その団体所属者を特別価格で研修参加させることができる。

※全ての会員について、入会金5,000円、年会費30,000円(賛助会員以外は月会費制度有)の会費設定となっています(2022年度)。

類似商標との混同及び商標権の侵害にご注意ください!

私たちは、「軍師」を名乗るにあたって自らの決意と覚悟を問い続け、その名に恥じない自己を確立するための研鑽を積み重ねてきました。相当レベルの学びを重ね、一定の基準の能力を有し、軍師たる自覚を有する者だけが名乗ることができる称号として軍師[®]認定を発行し、その保有者は認定取得後も切磋琢磨を続けています。その決意と覚悟を有し、一定以上の能力の証としての軍師[®]認定を社会に届けるため、私たちは、「軍師[®]」を商標登録し、一般社団法人軍師アカデミーにて所有・管理しています。(「軍師」「軍師会」「軍師アカデミー」「後継者の軍師」「経営者の軍師」「社長の軍師」の商標を保有しています。)

しかし、残念ながら、そのことをご存じないか、私たちの決意・覚悟と商標権の重みをご存じない個人・団体の方が安易に軍師を名乗り、事業活動をされることも時折耳にするようになりました。それなりのお立場を持たれている方が、この時代に商標権の侵害という行為を続けられることは考えにくく、おそらくは今はそうしたことを自重し、軌道修正していただけるものと私たちは期待しています。とはいえ、現実には、そうした違法利用に惑わされた声が耳に入っているのも事実です。

私たちの団体関係者が「軍師[®]」等の名称を利用する際には、原則として自らが認定保有者、軍師アカデミー(軍師会)会員であることなども明示することをルール化しています。「この人(団体)は、本物の軍師なのだろうか?」と疑問を感じた場合には、率直に「軍師アカデミーの方ですか?」「軍師会の方ですか?」とお尋ねいただければ幸いです。そこで相手の方がピンとこない場合には、もしかすると知らない間に商標権の侵害をその方がされているのかもしれないかもしれません。ご注意ください。

団体理念

私たちは、
人と経営の現実と向き合い、
その本質について熟考を重ね、
その場にかかわる全ての人々の幸せのために
駆使すべき「軍師力」を追究し続ける。
そして、その「軍師力」を共有する軍師を輩出し、
「軍師力」を社会の隅々にまで浸透させ、
人や組織がお互いの価値を高めあい、
成長と幸福の連鎖を巻き起こす
未来の実現に向けて邁進する。
(定款に定めた理念より)

団体概要

■団体名 一般社団法人軍師アカデミー

■設立 2014年2月28日

■運営体制 (2024年5月時点)

代表理事/理事長 神崎 充

理 事 國弘隆子 (有Office Creation 代表取締役)
川路隆志 (株えんのした 代表取締役)
大川原基剛 (株後継者の学校 代表取締役)

相談役 中嶋哲夫 (MBO実践支援センター 代表)

■拠 点 (お問い合わせの際はEメールにてご連絡いただければ幸いです)

【本部事務局(経営管理センター)】

〒700-0826 岡山県岡山市北区磨屋町10-20 磨屋町ビル
TEL: 086-801-1630 FAX: 050-3153-7778
E-mail: info@gunshi.or.jp

【東日本本部(東日本事務局)】

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-2-1 東宝日比谷ビル9階
(株)後継者の学校

【関西・北陸本部】

〒659-009 兵庫県芦屋市大原町9-1-1201 (有)Office Creation

【中四国本部】

〒700-0826 岡山県岡山市北区磨屋町10-20 磨屋町ビル8F
(株)えんのした

【九州本部(九州事務局)】

〒861-4171 熊本県熊本市南区御幸西2丁目1番43号
むらなか司法書士事務所

■Official Website <https://gunshi.or.jp/>

